

女性とジェンダーの歴史

第6号
2019.3

- 特集** 近代イギリスにおける子どもと女性 — ‘Child Removal’の多角的検討からみる子ども観 —
- はじめに ‘Child Removal’を議論すること 並河 葉子 (1)
- Child Removalとしての子ども移民 森本 真美 (7)
- 子どもの養育責任と売春婦
— マンチェスタ認定インダストリアル・スクールの入学・退校記録から — 三時眞貴子 (15)
- Child Removalと児童労働 — 徒弟制度を通して — 田中みんね (30)
- コメント 日本史研究の視点から 沢山美果子 (37)
- 討論 (45)
- 論文**
- アイリッシュ・ディアスポラの中の女性 奥田伸子、ブロンウェン・ウォルタ (57)
- リレー討論** 「いま、女性史に問われているもの」第8回
女性参政権百年のイギリスから 長谷川貴彦 (77)
- 女性史・ジェンダー史の古典を読む** 第2回
今井けい著『現代イギリス女性運動史 — ジェンダー平等と階級の平等』を読んで 松浦 京子 (80)
- 女性史をめぐる話題**
ジェンダー・リサーチ・ライブラリへの期待
— 名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ訪問記 — 浮岳 靖子 (86)
- 書評**
- 安達まみ著
『イギリス演劇における修道女像 — 宗教改革からシェイクスピアまで』 西川 健誠 (91)
- 日本ヴァージニア・ウルフ協会、河野真太郎・麻生えりか・秦 邦生・松永典子編
『終わらないフェミニズム — 「働く」女たちの言葉と欲望』 井野瀬久美恵 (93)
- 長谷川まゆ帆著
『近世フランスの法と身体 — 教区の女たちが産婆を選ぶ』 沢山美果子 (95)
- 石井香江著
『電話交換手はなぜ「女の仕事」になったのか — 技術とジェンダーの日独比較社会史』 北村 陽子 (98)
- 林葉子著
『性を管理する帝国 — 公娼制度下の「衛生」問題と廃娼運動』 大原関一浩 (101)
- クリスチャン・ヨブケ著 (伊藤豊・長谷川一年・竹島博之訳)
『ヴェール論争 — リベラリズムの試練』 鳥山 純子 (103)
- 三時眞貴子・岩下誠・江口布由子・河合隆平・北村陽子編
『教育支援と排除の比較社会史 — 「生存」をめぐる家族・労働・福祉』 金澤 周作 (105)
- 村知稔三・佐藤哲也・鈴木明日見・伊藤敬佑編
『子ども観のグローバル・ヒストリー』 香川せつ子 (107)
- 小浜正子・下倉渉・佐々木愛・高嶋航・江上幸子編
『中国ジェンダー史研究入門』 駒込 武 (109)
- 粟屋利江・井上貴子編
『インド ジェンダー研究ハンドブック』 松川 恭子 (113)
- 紹介**
Pamela Cox and Annabel Hobley, *Shopgirls: The True Story of Life Behind the Counter*
浮網 佳苗 (116)

イギリス女性史研究会